

陸上、柔道のほかにも、女子ソフトテニス部、卓球部、水泳競技が四国総体出場を決めた。女子ソフトテニス部の小寺・長瀬ペアは、今までたくさんの人に支えてもらった感謝を述べ、「四国総体まで届かなかつた仲間たちの思いを背負い最後まで自分たちらしいプレーをしたい」と語ってくれた。卓球部の板東大悟選手は、自身の目標であつたベスト16を達成し、四国総体出場を決めた。彼もまた「支えてくださっている人に感謝を忘れず先輩たちの分まで頑張りたい」と斗志を燃やしていた。水泳競技の吉岡みなみ選手は、「一人一人が練習の成果を発揮し、悔いのない総体にしたい」と語ってくれた。

それぞれの四国総体、そしてインターハイでの活躍を応援したい。

# 阿波高生 県総体で力戦奮闘

※他校の生徒・一般観覧者の肖像権保護のため写真省略。

**力強さと情熱で駆け抜けた総体ラグビー**

顧問京寛先生が語る今後とは…

ギラギラと太陽が照りつける中力強いプレーを見せてくれたのは我が校のラグビー部だ。

結果は六位と目標には惜しくも届かなかったが、この結果から得たものもたくさんあったようだ。

顧問の京寛先生は今大会は入部した

ての一年生がチーム内の半数以上を占めており、部員全員が成長し経験を積む良い機会となつた。次の大

五人制のため、部員が二人足りないので勧誘も頑張つていきた」と話してくれた。

ラグビー部は隨時新入部員を募集している。興味が湧いた人は、ぜひラグビー部に見学に行ってみてほしい。

(文責:西花凜)

が鳴門・大塚スポーツパークにて五月三十一日開催された。計一日間に渡り行われた。どの選手も活気に満ちていた。会場周りは選手と応援

が鳴門・大塚スポーツパークにて五月三十一日開催された。計一日間に渡り行われた。どの選手も活気に満ちていた。会場周りは選手と応援

に来た人で賑わっていた。三十日の土曜日はグラウンドの砂が舞う程の強風だったが、強風に巻き込まれながらも真っ直ぐに走りました。会場周りは選手と応援

が鳴門・大塚スポーツパークにて五月三十一日開催された。計一日間に渡り行われた。どの選手も活気に満ちていた。会場周りは選手と応援

# 阿波高弓道部

—総体でも団結力と絆發揮—

徳島高校総体弓道部門が鳴門・大塚スポーツパークにて五月三十一日開催された。計一日間に渡り行われた。どの選手も活気に満ちていた。会場周りは選手と応援

が鳴門・大塚スポーツパークにて五月三十一日開催された。計一日間に渡り行われた。どの選手も活気に満ちていた。会場周りは選手と応援

